NTN株式会社 桑名製作所

陸上競技部ニュース

平成24年12月11日　第228号

第52回中部実業団対抗駅伝競走大会

亀鷹新体制の初陣は4位でゴール！
49回目のニューイヤー駅伝出場権獲得！！

11月18日(日)、2013年元旦に行われる全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)の出場権を掛け中部実業団駅伝が開催された。今年から熱戦の舞台を愛知県田原市に移した本大会は各チーム強風に苦しむ中、ＮＴＮは1区笹沼選手、2区ワウエル選手が連続区間賞を獲得する上々の滑り出しであったが、徐々に順位を落としてしまう。6区山下(直)選手が愛三工業に追い付かれるものの、アンカー山下(洸)選手が競り合いを制し昨年に続いて4位でゴール。ニューイヤー駅伝の出場権を獲得したＮＴＮであったが上位チームに大差をつけられ、課題の残る結果となってしまった。

第52回中部実業団対抗駅伝競走大会

(成績)

順位	チーム名	記　録
1位	トヨタ紡織	4時間18分22秒
2位	トヨタ自動車	4時間18分51秒
3位	愛知製鋼	4時間18分59秒
4位	**ＮＴＮ**	**4時間24分07秒**
5位	愛三工業	4時間24分29秒
6位	中央発條	4時間26分17秒
7位	トーエネック	4時間26分23秒

以上7チームが全日本実業団駅伝の出場権獲得

区間	距離	選手名	記　録	区間順位	通過順位
1区	11.2Km	笹沼　悠司	34分19秒	1位	1位
2区	8.3Km	E・ワウエル	22分35秒	1位	1位
3区	10.0Km	吉村　光希	29分55秒	6位	3位
4区	17.4Km	梅枝　裕吉	54分40秒	5位	4位
5区	11.9Km	田中　貴章	37分37秒	5位	4位
6区	13.3Km	山下　直紀	42分59秒	7位	4位
7区	13.6Km	山下　洸	42分02秒	5位	4位

1区 (11.2Km) 伊良湖クリスタルポルト前～小中山保育園

切れ味鋭いスパートで区間賞を獲得した笹沼選手

新コースの1区を任されたのは過去中部実業団駅伝の1区で区間賞を獲得した事のある笹沼選手。ラストスパートに定評がある選手だ。海岸沿いを走る1区は強風が吹き荒れ、各チーム牽制する中でレースは進む。最初の5kmを16分30秒と超がつくほどのスローペースで通過すると大石選手(トヨタ自動車)が徐々にペースを上げる。笹沼選手は冷静に集団で息を潜め、勝負どころでラストスパート。粘る大石選手、塩田選手(トヨタ紡織)を1秒差で抑え見事区間賞を獲得。3年ぶり2回目の区間賞でチームに勢いを与えた。

集団を引っ張る笹沼選手

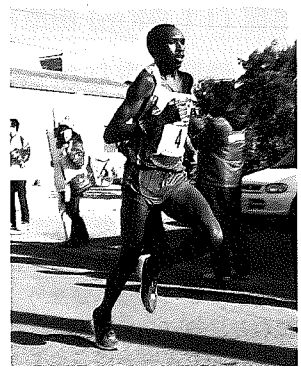
(通過順位とトップとの差)

1位	ＮＴＮ	—	5位	中央発條	14秒
2位	トヨタ自動車	1秒	6位	トーエネック	27秒
2位	トヨタ紡織	1秒	7位	愛三工業	37秒
4位	愛知製鋼	6秒	8位	柳河精機	54秒

2区 (8.3Km) 小中山保育園～堀切小学校

連続区間賞で勢いを増したワウエル選手

外国人選手が唯一走れる区間の2区。今年もＮＴＮはワウエル選手が出走した。ワウエル選手はスタートから快調なペースで走り、ほぼ同時に走り出したM・ジェル選手(トヨタ紡織)、J・ツォー選手(トヨタ自動車)を引き離し先頭をひた走る。その後も追い風に乗り、更に加速したワウエル選手は昨年に引き続き区間賞を獲得。後続との差を18秒まで広げタスキをつないだ。


トップを快走するワウエル選手

(通過順位とトップとの差)

1位	ＮＴＮ	—	5位	中央発條	50秒
2位	トヨタ紡織	18秒	6位	愛三工業	53秒
3位	愛知製鋼	19秒	7位	トーエネック	3分3秒
4位	トヨタ自動車	20秒	8位	柳河精機	3分18秒

3区（10.0Km）堀切小学校～若戸農業研修センター

先頭を守れなかった吉村選手

3区には高卒新人の吉村選手が実業団駅伝に初登場。トップでタスキを受け取った吉村選手であったが実業団駅伝のレベルの高さを痛感する結果となってしまった。緊張からかスタート直後から動きが硬い吉村選手。2ｋｍ過ぎには椎谷選手（トヨタ紡織）らに追い付かれる苦しい展開。その後、一度は4位に順位を落とした吉村選手であったが、最後に藤本選手（トヨタ自動車）を抜き返し先頭から43秒差の3位で中継を行った。

（通過順位とトップとの差）

1位	トヨタ紡織	—	5位	愛三工業	1分30秒
2位	愛知製鋼	18秒	6位	中央発條	1分40秒
3位	ＮＴＮ	43秒	7位	柳河精機	3分41秒
4位	トヨタ自動車	45秒	8位	トーエネック	3分56秒

4区（17.4Km）若戸農業研修センター～田原市役所

差を詰められなかった梅枝選手

最長区間となる4区には主将の梅枝選手が出走。タスキを受けた直後から高林選手（トヨタ自動車）と共にハイペースで前を追う梅枝選手。5km通過で25秒差まで差を詰めるが、小刻みなアップダウンと強風が徐々に梅枝選手のスタミナを奪う。前半のハイペースがたたり足取りが重くなった梅枝選手は先頭から離れだす。田原市街地に向かう13km以降は向かい風となり更にペースが鈍る。ここで流れを引き戻したかったＮＴＮではあるが、先頭から2分42秒遅れの4位で中継し先頭争いから遅れる事となった。

応援団の前を疾走する梅枝選手

（通過順位とトップとの差）

1位	トヨタ紡織	—	5位	愛三工業	3分37秒
2位	愛知製鋼	50秒	6位	中央発條	4分43秒
3位	トヨタ自動車	2分08秒	7位	トーエネック	5分12秒
4位	ＮＴＮ	2分42秒	8位	柳河精機	6分18秒

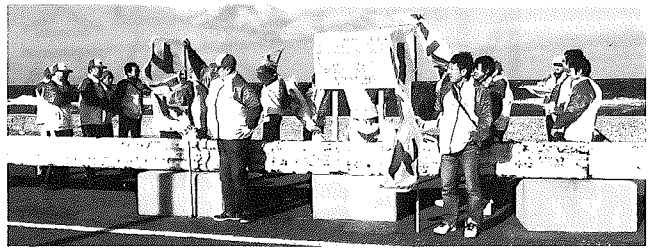
5区（11.9Km）田原市役所～片浜公民館

力を発揮出来なかった田中選手

5区を走るのは新人の田中選手。学生時代には箱根駅伝でも区間賞を獲得するなど駅伝で安定した走力を発揮する将来のエース候補だ。そんな田中選手であったが、実業団駅伝ではほろ苦いデビューとなってしまった。田中選手は前半から積極的に前を追う姿勢をみせる。前を行くトヨタ自動車のベテラン尾田選手を懸命に追うが思うように差が詰まらない。田中選手の足取りは徐々に重くなり、快調なペースで走る尾田選手について行けず一人旅となってしまう。強風の中、一人で前を追うのは難しく順位は変わらず4位で6区にタスキをつないだ。

（通過順位とトップとの差）

1位	トヨタ紡織	—	5位	愛三工業	4分31秒
2位	愛知製鋼	1分33秒	6位	中央発條	5分05秒
3位	トヨタ自動車	1分43秒	7位	トーエネック	7分13秒
4位	ＮＴＮ	3分29秒	8位	柳河精機	8分19秒

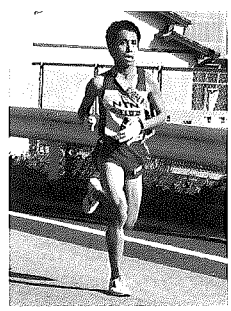


強風の中選手を待つ応援団

6区（13.3Km）片浜公民館～サンテパルクたはら

向かい風に苦しんだ山下（直）選手

当初6区を予定していた大島選手のケガにより急遽出走となった山下選手。前後に選手が見えず、走りにくい展開の中、走り出した山下選手であったが強風に苦しめられ思うようにペースが上がらない。すると後続の愛三工業が次第に距離を縮め10km地点で20秒差まで詰められる。10km以降のアップダウンで更に差を詰められ1秒差でアンカーの山下（洸）選手にタスキをつないだ。



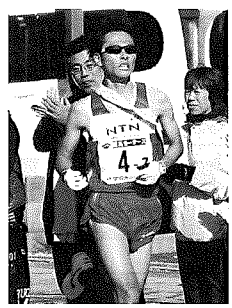
苦しい走りとなった山下（直）選手

（通過順位とトップとの差）

1位	トヨタ紡織	—	5位	愛三工業	5分16秒
2位	愛知製鋼	1分 7秒	6位	中央発條	7分17秒
3位	トヨタ自動車	1分 27秒	7位	トーエネック	8分 1秒
4位	ＮＴＮ	5分15秒	8位	柳河精機	10分20秒

7区（13.6Km）サンテパルクたはら～たはらはなとき通り

競り合い制し4位でフィニッシュした山下（洸）選手



ゴールに向かう山下（洸）選手

今年は3000m障害で日本選手権を制すなど力をつけた山下選手。しかし、夏以降はケガに苦しみ満足な練習が出来なかった山下選手であったが、アンカーの役目を果たしてくれた。タスキを受け取るとすぐに中元選手（愛三工業）と並走し、冷静に勝負所を伺う。徐々に疲れが見える中元選手に対し山下選手は10km手前でペースを上げ、粘る中元選手を振り切り4位でゴール。49回目のニューイヤー駅伝出場権を獲得した。昨年と同じ4位ではあるものの、上位3チームとの力の差を痛感した予選会となってしまった。本戦となるニューイヤー駅伝まで期間は短いが建て直しを図り、本線に臨んでもらいたい。

応援に来ていただいた応援団との記念撮影

応援ありがとうございました